

消費者団体等との意見交換会を開催しました(大分市)

平成30年2月22日(木)、大分市の九州農政局大分県拠点において、「安全で健やかな食生活を送るために～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」をテーマに、大分県内の8団体20名の消費者団体等の皆様と意見交換会を開催しました。

「アクリルアミド」に関する正しい知識と理解を深めていただくとともに、各家庭での調理の際にアクリルアミドができるだけ増えないようにするために、食材の準備段階や加熱調理の段階でできる工夫などを紹介しました。

また、食生活において食事の栄養バランスに気をつけることが一番大切であることなども紹介しました。

参加者からは、「アクリルアミドに関する研究実態はどのようになっているか」、「農林水産省はこれまでどのような情報提供をしてきたのか」、「蒸す、ゆでる等の調理を行った場合に、アクリルアミドはできるのか」、「野菜を水にさらして調理すると、ビタミンCなどの栄養素が水に溶け出すのではないか」、「アクリルアミドの生成を抑えることができる食品添加物とは、具体的には何か」、など多数の質問があり、関心をもっていただきました。

また、食品事業者への指導・普及、学校給食関係者や子育て世代の方々への幅広い情報発信を行っていくべきなどの意見も寄せられました。



これまでの消費者団体等の皆様との意見交換会の様子は、九州農政局ホームページからご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/syokunoanzenansin/risk/risk.html>

または、「九州農政局 消費者団体等との意見交換会」で検索できます。



◆「出前講座」を行っています◆

九州農政局では、アクリルアミドに関する知識や家庭でできる低減対策、並びに加工肉、トランス脂肪酸による健康への影響について情報を提供しています。

皆様の団体の研修会など、ご希望に応じて職員が説明にお伺いします。

※詳しくは、**TEL 096-300-6122 (直通)**までご連絡ください。

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/syokunoanzenansin/kousihakenn/kousihakenn.html>

ジャガイモによる食中毒を予防するためにできること ～天然毒素の特徴と食中毒予防のポイント～

ジャガイモには、炭水化物やビタミンなどの栄養素が多く含まれるほか、微量の天然毒素が含まれています。毒素が増えると、おう吐や腹痛を起こすことがあるので、ジャガイモの栽培から収穫まできちんと取扱うように気をつけましょう。

ジャガイモを学校や家庭等の菜園で栽培し、収穫するときの注意点をご紹介します。



(左)緑色になったイモ
(右)通常のイモ



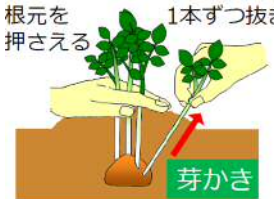
芽が出たイモ

I 栽培する時の注意点

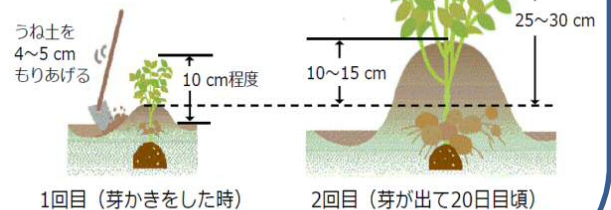
- ポイント① イモに光を当てない
- ポイント② イモは大きく育て、熟してから収穫する

- 1 種イモを植え付ける時に、
 - ・ 十分な量の肥料をまきましょう（ジャガイモ用肥料が市販されています。）。
 - ・ 種イモと種イモの間は30 cm程度の間隔をあげましょう。
- 2 芽が出て、10 cmほど伸びたら、太い芽を2～4本ほど残して他の芽を抜き取る「芽かき」をしましょう。
- 3 イモが地面の外に出ないように「土寄せ」をしましょう。土寄せは、①芽かきをした時、②地上上部が25～30 cmになった時（芽が出て20日目頃）の2回行いましょう。

残す芽の根元を押さえる
不要な芽を1本ずつ抜き取る



太い芽を2～4本残す



1回目（芽かきをした時）

2回目（芽が出て20日目頃）

土寄せ

II 収穫する時の注意点

- ポイント① イモに光を当てない
- ポイント② イモは大きく育て、熟してから収穫する
- ポイント③ 収穫、保管時にイモを傷つけない

- 1 茎葉全体が黄色くなってから、土が乾いた日に収穫しましょう。
- 2 十分に熟して大きくなったイモだけを収穫しましょう。
- 3 イモを傷を付けないよう掘り起こしましょう。
- 4 収穫したイモは、日かげの風通しのよい場所で乾燥させ、表面が乾いたら、土を落として保管しましょう。



生育期



黄変期



収穫期

次回号(5月)ではジャガイモを保管し、調理する時の注意点を紹介します。



お届け先の変更はお早めにお知らせください！

(お問い合わせ先)

農林水産省九州農政局消費生活課 佐藤
〒862-8527熊本市西区春日2-10-1
TEL 096-211-9111 (代) 内線4214 FAX 096-211-9700

